

各協議会からの提案概要

1. 協議会名称 土湯温泉町復興再生協議会
代表者 加藤 勝一

2. 実施箇所 福島県福島市

3. テーマ

土湯温泉地区を訪れる高齢者・障害者、観光来訪者等を対象とした歩行者移動支援サービス

4. 提案内容

【情報提供の対象者】

土湯温泉地区を来訪するこの地に不慣れな観光客、高齢者、車いす使用者、ベビーカー利用者

【提供するサービス内容】

主要施設のバリアフリー情報、トイレ・休憩施設、宿泊施設・観光施設、バリアフリー経路案内、バス運行情報、現在地の近傍施設の検索・案内

【歩行者の位置特定方法】

GPS、Wi-Fi、ucodeQR

【携帯情報端末】

スマートフォン(iPhone)、iPod-Touch、タブレット端末(iPad, Android端末)、従来型携帯電話、PC(Windows, Mac)

図. 移動支援サービスのイメージ

位置特定技術

- ・GPS測位
- ・WiFi測位
- ・ucodeQR



歩行空間ネットワークデータ

- ・勾配、階段、段差、歩道幅員等
- ・歩行注意箇所(階段・勾配等)
- ・経路情報ベースデータ



施設等のデータ

- ・地区内の施設情報
- ・各施設のバリアフリー情報
- ・休憩施設・トイレ等の情報
- ・バス関連情報



利用端末(汎用機)

- ・スマートフォン(iPhone)
- ・タブレット端末(iPad, Android端末)
- ・従来型携帯電話
- ・PC(Windows, Mac)



情報提供サービス

- ・施設のバリアフリー情報
- ・トイレ・休憩施設の案内
- ・宿泊施設・観光施設の案内
- ・バリアフリー経路案内
- ・通行注意箇所案内
- ・バス運行情報
- ・現在地近傍施設の案内



5. 数値目標と達成時期

サービス利用者数: 500名以上(高齢者[60歳以上]が10%以上)

地区内の目的地へ容易に到達 60%以上
来訪者の増加 50%以上

移動の利便性・安全性の向上 60%以上
システムの継続を希望 80%以上

各協議会からの提案概要

1. 協議会名称 (仮称) 狛江市あいとぴあレインボー推進協議会
 代表者 平林 浩一

2. 実施箇所 東京都狛江市

3. テーマ

コミュニティバスときめ細かく連動した、高齢者や、障がい者、ベビーカー利用者を含めた多くの市民のユニバーサルモビリティ環境のいち早い実現のための歩行者移動支援サービス

4. 提案内容

【情報提供の対象者】

高齢者、車いす使用者、肢体不自由者、聴覚・言語障がい者、内部障がい者、知的・精神・発達障がい者、妊婦、子ども連れ、その他

【提供するサービス内容】

バリアフリー経路案内(バス停までの誘導→バス停での案内→車中の案内→降車後の誘導)、市内の景観資源や観光スポットなどを紹介

【歩行者の位置特定方法】

GPS、QRコード

【携帯情報端末】

スマートフォン(Android、iPhone)、タブレット端末(Android、iPad)

図. 移動支援サービスのイメージ



提供サービス	出発地サービス ①	歩行誘導サービス ②	停留所サービス ③	バス内サービス ④	停留所サービス ③	歩行誘導サービス ②	目的地サービス ⑤
利用ネットワークデータ	地図APIデータ	歩行空間ネットワークデータ		巡回バスネットワークデータ		歩行空間ネットワークデータ	

5. 数値目標と達成時期

サービス利用者数: 30,000名以上(うち、高齢者や障がい者12,000名以上)
 [ダウンロード数 1,500件~2,000件/月]

移動機会の増加 10%以上増加

移動時間の短縮 5%減少

各協議会からの提案概要

1. 協議会名称 下田市ユニバーサルツーリズム推進協議会
代表者 増田 健太郎

2. 実施箇所 静岡県下田市

3. テーマ

車椅子利用者を含めた外国人観光客及び日本人観光客の街歩き観光促進を実現する歩行者移動支援サービス

4. 提案内容

【情報提供の対象者】

車いす使用者(外国人観光客及び高齢者観光客)、外国人観光客(中・台・韓・欧米)、観光客

【提供するサービス内容】

バリアフリーまちあるきルート案内、周辺情報(リスト表示、エアタグ)の提供、ポータルページの提供、SNS(Twitter/Facebook)連携機能の提供

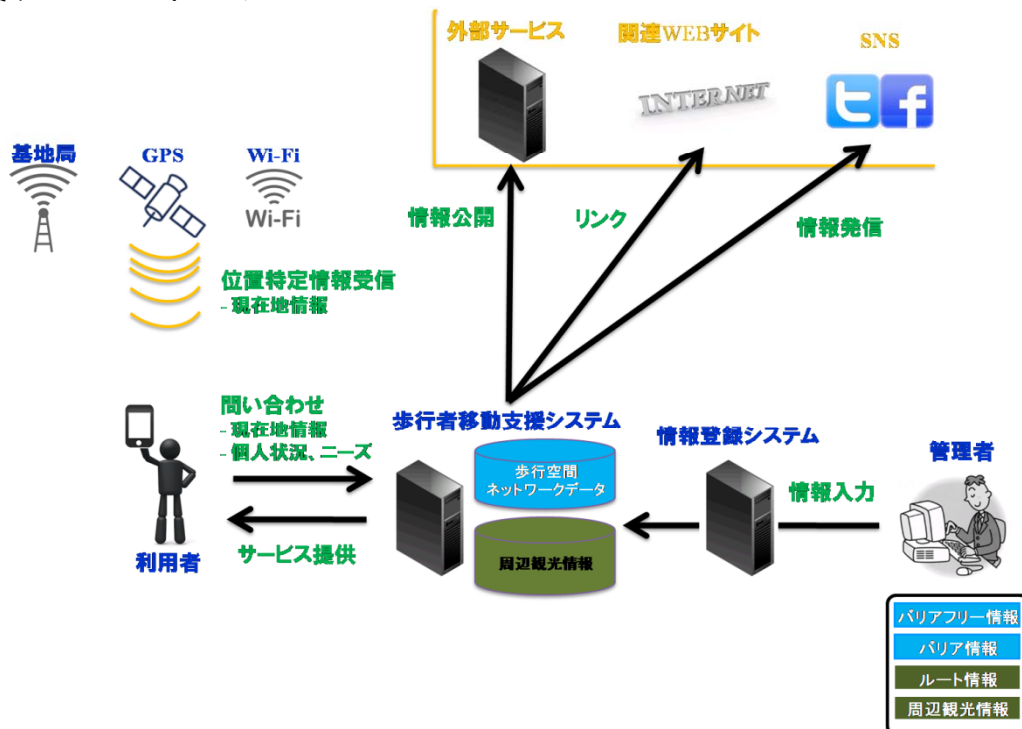
【歩行者の位置特定方法】

GPS、Wi-Fi

【携帯情報端末】

スマートフォン(Android、iPhone)、タブレット端末(Android、iPad)

図. 移動支援サービスのイメージ



5. 数値目標と達成時期

サービス利用者数: 300名以上(うち、外国人20名、車いす利用者20名)
アンケートにより把握

各協議会からの提案概要

1. 協議会名称 城下町いずし歩行者移動支援協議会
 代表者 中易 培根

2. 実施箇所 兵庫県豊岡市

3. テーマ

移動制約者にも楽しめる観光まち歩き及び多言語対応による外国人客の誘導を行う歩行者移動支援サービス

4. 提案内容

【情報提供の対象者】

車いす使用者、外国人(インバウンド及び阪神地区在住外国人)(英・中・韓)、日帰り観光客、周辺温泉地宿泊客

【提供するサービス内容】

バリアフリー経路案内、魅力ある散歩ルートを紹介、観光スポット・施設等案内、多言語対応

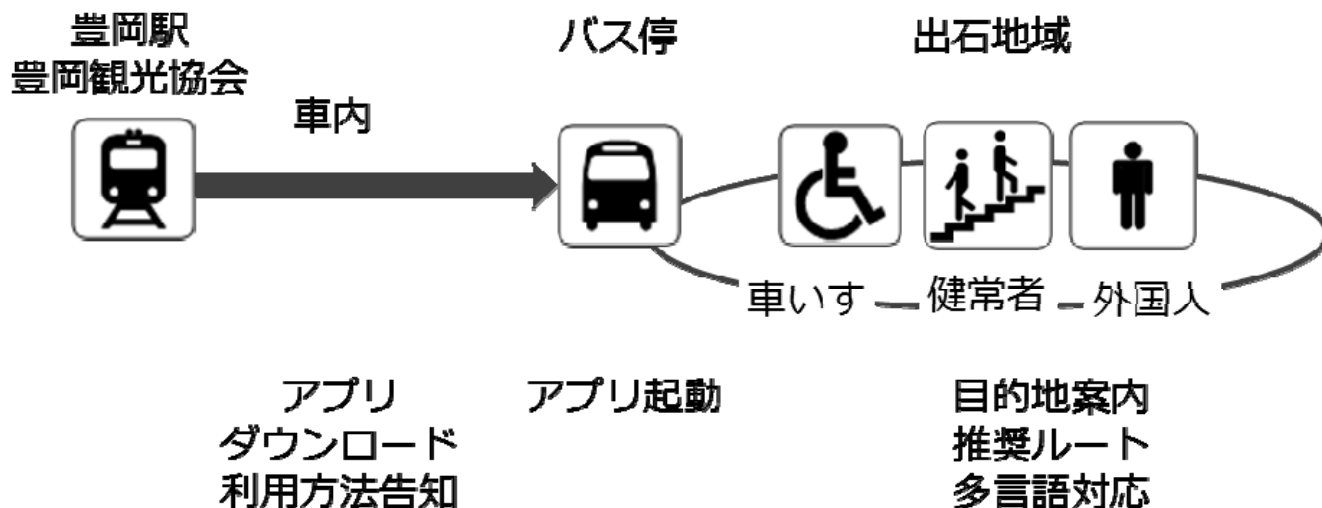
【歩行者の位置特定方法】

GPS、Wi-Fi

【携帯情報端末】

スマートフォン(Android、iPhone)、タブレット端末(Android、iPad)

図. 移動支援サービスのイメージ



5. 数値目標と達成時期

サービス利用者数: 600名以上(うち、車いす使用者、高齢者60名以上)

[平成26年度に通年アプリダウンロード数 30/日 年間1万ダウンロードを目標]

(安心感含めた)サービス満足度 6割達成

各協議会からの提案概要

1. 協議会名称 松江バリアフリーのまちづくり推進協議会
代表者 杉崎 千洋

2. 実施箇所 島根県松江市

3. テーマ

スマートフォンのGPS機能、WEBを組み合わせ、車いす使用者、視覚障がい者(居住者及び来訪者)へ歩行者移動支援情報として提供することにより、安心して便利にまち中を移動できる環境を実現する歩行者移動支援サービス

4. 提案内容

【情報提供の対象者】

車いす使用者(生活者/来訪者)・視覚障がい者(生活者/来訪者)

【提供するサービス内容】

バリアフリー経路案内、視覚障がい者の歩行支援コンテンツ提供、路線バスのバリアフリー情報提供

【歩行者の位置特定方法】

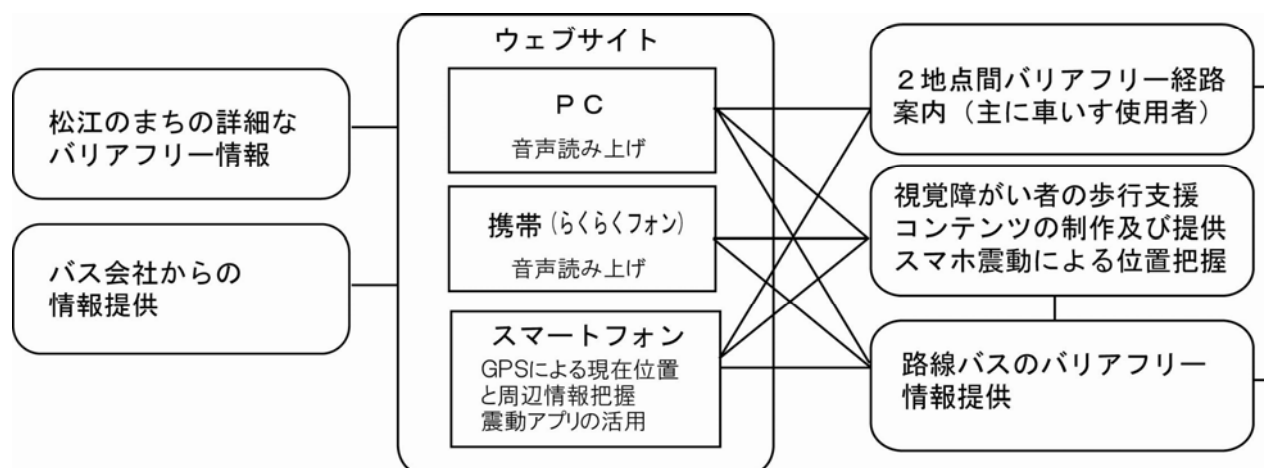
GPS

【携帯情報端末】

[車いす使用者]スマートフォン(Android、iPhone)

[視覚障がい者]らくらくフォン [視覚障がい者(弱視者)]スマートフォン(Android)

図. 移動支援サービスのイメージ



5. 数値目標と達成時期

サービス利用者数: 100名以上(うち、高齢者10名以上)

移動機会の増加 10%以上増加

移動時間の短縮 10%減少